



## 安全データシート

Copyright, 2017, 3M Company

All right reserved.

本情報は、3Mの製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	34-0088-4	版	3.00
発行日	2017/09/29	前発行日	2017/08/28

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

Scotchcal film 3650CV2

#### 3M スtockナンバー

J1-4020-0985-3      J1-4020-0986-1      J1-4020-0987-9      JR-4800-1968-6      JR-4800-1969-4  
JR-4800-1970-2      JR-4800-1971-0

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部 技術部
電話番号	042-770-3518

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

有害とは分類されない。

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

適用しない。

##### シンボル

適用しない。

##### ピクトグラム

適用しない。

### 3. 組成及び成分情報

Scotchcal film 3650CV2

成分	CAS番号	重量%
白色ポリ塩化ビニル	なし	45 - 55
ペーパーライナー	なし	40 - 50
アクリル系粘着剤	営業秘密	1.0 - 10

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。症状が発現した場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗浄する。懸念がある場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

応急処置は不要。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合：水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 消火作業者の保護

特別な防御措置は不要：消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

適用しない。

### 環境に対する注意事項

適用しない。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

切断又は研磨作業中に発生する粉じんの吸入を避ける。 通常の使用条件のもとでは、本製品からの有害化学物質の放出は予想されない。

### 保管

適用しない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

#### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

### ばく露防止策

#### 設備対策

適用しない。

### 保護具

#### 眼の保護具

特別な眼保護具は必要でない。

#### 皮膚及び身体の保護具

特別な皮膚保護は必要ない。

### 呼吸用保護具

特別な呼吸器保護は必要でない。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

#### 外観

#### 物理的状态:

形状、色、臭い

臭いの閾値

pH

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

固体

ロール状テープ。

白色。無臭。

適用しない。

適用しない。

適用しない。

適用しない。

引火点	適用しない。
蒸発速度	適用しない。
引火性 (固体、ガス)	区分されない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気圧	適用しない。
蒸気密度	適用しない。
密度	適用しない。
比重	適用しない。
溶解度	適用しない。
溶解度 (水以外)	適用しない。
溶解度 (水以外)	適用しない。
n-オクタノール/水分配係数	適用しない。
発火点	適用しない。
分解温度	適用しない。
粘度	適用しない。

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

### 避けるべき条件

知見はない。

### 混触危険物質

知見はない。

### 危険有害な分解物

物質	条件
一酸化炭素	特段の規定はない。
二酸化炭素	特段の規定はない。

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは

製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

##### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

##### 眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

切断作業中：

切断、研磨又は機械加工によって発生する粉じんは眼を刺激する。症状は発赤、腫脹、痛み、催涙及び視力低下など。

##### 皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

##### 吸入した場合

切断作業中：

切断、研磨、機械加工によって発生する粉じんは呼吸器系を刺激する。症状は咳、くしゃみ、鼻水、しわがれ声、喘鳴、呼吸困難、鼻と喉の痛み、吐血など。

##### 飲み込んだ場合

人体への健康影響は考えられない。人体への健康影響に関する情報は無い。

#### 追加情報

本製品を当社の推奨する方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられるが、当社が推奨する使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

#### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 皮膚感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 生殖細胞変異原性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 発がん性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 生殖毒性

#### 生殖発生影響

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 標的臓器

#### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

#### 吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

#### 生態毒性

#### 水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

#### 水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

#### 残留性・分解性

試験データはない。

#### 生体蓄積性

試験データはない。

#### 土壌中の移動性

データはない。

#### オゾン層への有害性

データはない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

### 14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

### 15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は、2017年3月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

#### 主な法規制物質

	法規名		
成分	安衛法通知政令番号	P R T R 政令番号	毒物及び劇物取締法
該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

#### 日本国内法規制（主な適用法令）

消防法：指定可燃物（合成樹脂類 その他のもの 3000kg）

### 16. その他の情報

#### 改訂情報

セクション1：担当部門の電話番号 情報修正。

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**